

図書館だより

- ― 特集 「佇む山」
- ― 展示紹介
- ― 新刊紹介
- ― お知らせ



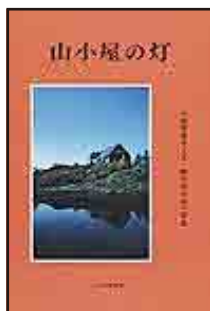
杉並区立中央図書館
2021年11月号

佇む山

11月は秋から冬への橋渡し。

木枯らしが吹き、落ち葉が舞い散る様子にはもの寂しさが感じられるが、美しく色づく紅葉と冬の訪れを共に楽しめる季節でもある。なにかと忙しい年末を迎えるその前に、ひと息ついて山の空気に触れてみるのはいかがだろう。

今回は、山の凛とした姿、澄んだ空気が感じられる本を集めた。



山小屋の灯

小林 百合子／文 山と溪谷社 2018.7
野川 かさね／写真 請求記号：291.5 コ

『ワンダーフォーゲル』連載「山と山小屋」を加筆修正した16の山小屋の物語。小林百合子と野川かさねが訪れた、忘れがたい山と山小屋で過ごした日々。山小屋やその主の佇まい、朝食、こたつ、そこに生息する生き物など、山小屋の魅力が静謐な筆致と温かい写真の数々で綴られる。山頂を目指すことだけが登山ではないことを教えてくれる一冊。山と人とのつながりを味わう、情感豊かな登山のかたち。



野生のベリージャム

小島 聖／著 青幻舎 2018.3 請求記号：914.7 コシ

国内外の様々な山に登る女優・小島聖が、ネパールでのトレッキングやアメリカの大自然を20日間ひたすら歩く「ジョン・ミューア・トレイル」などでの“食”にまつわるエピソードを綴る。荒野のただ中でも山の中にも、著者が旅のなかで大切にしているのは“何を食べるか”だという。エッセイだけではなく、旅のルートやその地で食べたもの、山で作れるレシピのメモなども掲載されている。シンプルな文章とそこに添えられた山ごはんの写真の数々に食欲をそそられる。



旅をする木

星野 道夫／著 文藝春秋 1999.3 請求記号：BY ホ

著者が過ごしたアラスカでの日々、自然や動物たち、アラスカ先住民族、開拓時代にやってきた白人たちの生き様など、極北の大自然と人々の輝きが、美しく味わい深い言葉で綴られる。

生きることの喜びと死ぬことの意味に真摯に向き合い旅をしてきた著者の、細やかな感性や深い洞察、自然へのまなざし。その一文一文が読む者の五感を震わせる、音の聞こえるような描写や風景が見えてくる文章たち。読めばあなたもいつの間にかアラスカの景色のなかにいることだろう。



言葉ふる森

作家による「山」のエッセイ・紀行 30 編

山と溪谷社／編 山と溪谷社 2010.2 請求記号：915.7 ヤ

誰かの旅の記録を読んで思いを馳せる。それだけで行ったことのない土地にも親しみを抱くようになるから不思議だ。本書は『山と溪谷』連載のリレー・エッセイを中心に、現代作家総勢29人によるエッセイ・紀行 30 編が収録されており、29人それぞれの切り口で山に関する想いや体験が語られている。“マタギ”との交流を綴った熊谷達也「山が持つ二つの貌」や、共に子ども時代を振り返った堀江敏幸「帰途」、あさのあつこ「山との日々」など。「山」をめぐる豊かな言葉の森。

日本の国土の3分の2を占める山は、古くから日本人にとって親しみ深い地であった。「山」はただそこにあるだけなのに、季節の移ろいや気候の変化によって日々違う表情を見せ、登る者たちを魅了する。またそんな山に人々は様々な思いを抱き、それぞれのアプローチで接する。食、風景、宿、信仰、動植物…。人の数だけ山の楽しみ方があるのは興味深い。「山」は、ただそこにあるだけなのに。
山は慌ただしい社会を生きる私たちに、雄大な自然と悠久な時の流れを届けてくれる。

「芸術の秋」ということで、今月の展示は映画や音楽をテーマに各コーナーで展開します。担当の力作をぜひご覧ください。

1階 展示コーナー

BOOKS & CINEMA

展示期間
11月5日(金)～12月1日(水)

映画の設定資料集、サウンドトラック、制作のウラ話本、ポスターを紹介した本、そしてもちろん原作本まで。

映画をテーマに資料を集めました。
本と映画の双方をお楽しみください。

映画ポスターの歴史

時代と作品で読み解く



映画といえばポスター。その芸術性の高さは映画作品をさらに引き立てます。ポスターをきっかけに、気になる映画を探してみませんか？

イアン・ヘイドン・スミス／著
ブレシ南日子／訳
岡田 秀則／監修
玄光社 2019.8
請求記号：778.2 ス

時計じかけのオレンジ

近未来の高度管理社会を描いた英国の二十世紀文学を代表するディストピア小説。善と悪が入れ変わるストーリー構成は今も色褪せない。

アントニイ・バージェス／著
乾 信一郎／訳
早川書房 2008.9
請求記号：BR ハ

YA コーナー 特集 2階

展示期間
11月5日(金)～1月5日(水)

読んでから観る？観てから読む？～映画化された小説～

自分の抱いたイメージがどんな風に映像化されるのか想像しながら原作を読むか。それとも、映画を観てから原作を読んでみるか。どちらにするかはお好みで。映画の原作本を集めました。

1階 展示コーナー 奥

歌は世につれ世は歌につれ

展示期間
11月5日(金)～1月5日(水)

あらゆる時代を彩ってきた音楽。皆さんにも音楽を聴くだけで甦ってくる風景や出来事はありませんか？ そんな魅力を持つ音楽についての本やCD、レコードなどを、国内外問わず集めました。

昭和歌謡

流行歌からみえてくる昭和の世相



昭和元年から昭和64年までの大衆歌謡のその年の世相を反映している曲をピックアップし、社会ではどのような出来事があり、ほかにどのような曲がヒットしたかなど、まさに「歌は世につれ世は歌につれ」な一冊。

長田暁二／著
敬文舎 2017.10
請求記号：767.8 オ

ドナルド・キーンのおペラへようこそ！

われらが人生の遊び



日本文学研究者のキーンさんは大のおペラファンであった。マリア・カラスの声を生で聴いた驚きや三島由紀夫とのオペラ談義が書かれていて、オペラ初心者でも楽しめる一冊。

ドナルド・キーン／著
文藝春秋 2019.4
請求記号：766 キ

あの庭の扉をあけたとき

2022年映画公開予定の原作本です！
子どもの頃、まよなかの病院で出会った少女は、「わたし」を不思議な記憶の世界へ連れ出してくれました。
佐野洋子さんの飾らない文章が染みる一冊。映画の後でも先でもいいのでぜひ読んでみてください。

佐野洋子／著
偕成社 2009.4
請求記号：913 サ





中央図書館に入った

新刊紹介



図書館スタッフのおススメの本を紹介するコーナー

図書館員の本棚



作家と酒

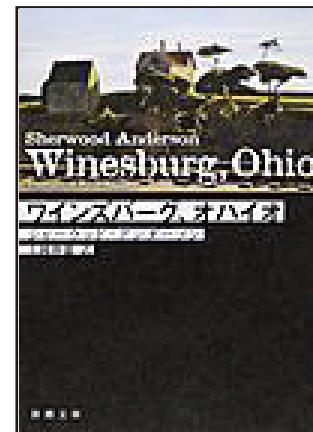
平凡社 2021.9
平凡社編集部 / 編 請求記号：914.7 へイ

ほろ酔い、泥酔、二日酔い…そして今宵も酒を呑む。開高健、吉田健一、赤塚不二夫、中上健次、さくらももこら、昭和の文豪や現代の人気作家 46 人による、酒にまつわるエッセイ、詩、漫画、写真資料を収録。



ワインズバーグ、オハイオ

シャーウッド・アンダーソン / 著
上岡伸雄 / 訳
新潮社 2018.7
請求記号：BR ア



ある時期、「何か面白い本はないか？」
と聞かれる度に薦めまくっていた本だ。

オハイオ州ワインズバーグという架空の町を舞台にした 22 編からなる連作短編集である。序章に“グロテスクな人々についての本”とある。ここでいうグロテスクとは異様な姿、形のことを指すのではない。誰もが抱えている心の闇のようなものを指している。孤独であったり、不安であったり、飢餓感であったり。「グロテスク」を抱えながら生きる住民の日常を淡々と描いている。そう、ただ淡々と。

読み進めるうちに、いつしか自分もここの住民になっているかのような気がして、彼らが愛おしく、切なくなってくる。私も「グロテスク」を抱えている一人だからなのかもしれない。

ふと、映画監督のジム・ジャームッシュがこの作品を映画化したら面白いだろうな、と思いを馳せつつページを閉じた。

私はいま自由なの？

男女平等世界一の国 ノルウェーが直面した事実

リン・スタルスベルグ / 著
枇谷玲子 / 訳 柏書房 2021.10
請求記号：367.2 ス

ノルウェーのジャーナリストが、仕事と家事の両方に押しつぶされそうなノルウェー女性たちの肉声を紹介する。ジェンダーギャップを埋めただけでは解決しない、本質的な課題を浮かび上がらせる渾身のレポート。



キャンプ料理ぜんぶ

焚き火や炭で楽しむ調理術

実業之日本社 2021.9
ガルヴィ編集部 / 編 請求記号：596.4 カ

料理でキャンプはもっと楽しくなる。BBQ に必要な道具や調理器具の基礎知識から、焚き火料理、スパイスを効かせた料理など、キャンプならではの絶品レシピまでを紹介。『ガルヴィ -GARVY-』掲載記事を元に再編集。



11月のカレンダー

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
31	1	 2	 3	4	5	6
7	8	 9	 10	11	12	13
14	15	 16	 17	18	19	20
21	22	23	 24	25	26	27
28	29	 30	1	2	3	4



おはなし会



あかちゃんタイム

詳細は

なかよしつうしん
をご覧ください。

開館時間

月～土 9:00～20:00

日・祝 9:00～17:00

休館日 第1・第3木曜日

新型コロナウイルス感染防止のため、

必ずマスク着用をお願いいたします。

長時間のご利用はお控えください。

詳しくは、図書館カレンダー、
図書館ホームページをご覧ください。

所在地

〒167-0051

杉並区荻窪3-40-23

☎ 03-3391-5754

公式HP



図書館だより

2021年11月1日

杉並区立中央図書館 発行